



NHO Shibukawa Medical Center

ウイズ

— No.97 —

令和2年1月（2020年）

編集発行

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

電話 0279-23-1010
FAX 0279-23-1011

E-mail: 207-ShibuKawaMC_mbx@mail.hosp.go.jp

https://shibukawa.hosp.go.jp

渋川医療センター 広報誌



前列左から 蒔田副院長、高木渋川市長、斎藤院長、川島渋川地区医師会長、棚橋特命副院長
後列左から 水澤管理課長、見城渋川保健福祉事務所長、澁澤経営企画室長、萩原事務部長、
中澤企画課長、福田渋川広域消防本部消防長、林看護部長

基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携しその役割を果たします。

基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します。
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います。
3. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児（者）の専門病院として社会に貢献します。
4. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します。
5. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します。
6. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します。
7. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます。

目次

年頭ご挨拶	1
日本てんかん学会のGSK 教育事業助成セミナー	2
令和元年度災害対応訓練を行いました	3
医療機関従事者を対象とした	
「はじめての手話教室」を開催しました	4
「県民の日イベント」を開催して	5
第22回市民公開セミナーを開催しました	6

シリーズ

●患者さんにとって耳寄りな情報	
「高血圧と食生活」	7
「人名から学ぶ放射線の話」	8
●外来診療担当医表	9
●セカンドオピニオン担当表	11

年頭ご挨拶

地域医療構想に先駆けて再編統合を行った渋川医療センター

国立病院機構渋川医療センター 院長 齋藤 龍生



新年明けましておめでとうございます。今年は職員一同新たな気持ちで新年を迎えております。

団塊世代全員が75歳以上になり、医療・介護費の急増が想定される令和7（2025）年を見据え、効率的な医療提供体制を築くため地域医療構想が持ち上がっております。各都道府県で議論が進まないことから厚生労働省は2019年9月に、全国の公的病院1455の病院のうち、診療実績が乏しいなどと判断した424病院に統廃合を含めた再編の検討を求めることを決め、病院名を公表しました。これに対し公表された病院からは地域の実情に配慮していないなどの反発が相次いでいます。

公立病院が医業収支の大幅な赤字を税金で補填していることから公立病院の改革が叫ばれ、2007年公立病院改革プランが、2017年には新公立病院改革プランが策定されましたが進捗状況は思わしくありません。渋川医療センターは公立病院改革プランや地域医療構想といった政策誘導型の受動的統合ではなく、国立病院機構西群馬病院と渋川市立渋川総合病院とが地元のニーズに基づいて地域に貢献できる病院を目指して自らの意思で再編・統合いたしました。その背景には渋川医療圏は県内10医療圏の中で入院患者および救急搬送患者の他医療圏域への流失率が最も高かったこと、医療に対する住民の意識調査で、夜間や休日の救急医療体制が不足している（worst 1）、必要な診療科目が不足している（worst 2）、医療機関が不足している（worst 3）との結果がありました。これらのデータから、渋川医療圏の住民は、多くの診療科を有する救急体制の整った中核病院を切望していることが分析されました。一般の住民を対象とした新病院内覧会に、5,500人ももの住民が来ていただいたことから、期待のほどがうかがわれました。渋川医療センターは公的病院の再編統合・病床削減（西群馬380床、渋川総合150床、渋川医療450床：80床削減）により誕生した、県地域医療計画における基幹病院であり、まさに地域医療構想の先駆けともいえます。地域が求める医療を実現した成功例として注目されています。

今後も地域のニーズをしっかり受け止め、渋川医療圏病院群のハブ病院としての役割を果たしてまいりますので、よろしくお願い致します。

日本てんかん学会のGSK教育事業助成セミナー

脳神経外科部長 高橋 章夫

9月28日（土）に日本てんかん学会のGSK医学教育事業助成による講演会が渋川医療センターの大会議室で行われました。開催の詳細は下記の通りです。

講演会名：てんかんを知ろう 医療従事者のためのてんかんセミナー

実施日：令和1年9月28日（土）14：00 - 17：00

会場：国立病院機構渋川医療センター 大会議室（群馬県渋川市）

- | | | |
|-------------|-------------------------|---|
| 14：00～14：10 | 「開会挨拶」 | 脳神経外科部長 高橋 章夫 |
| 14：10～15：05 | 「群馬のてんかん診療における諸問題」 | 脳神経外科部長 高橋 章夫 |
| | 「てんかん患者さんの生活を支える制度について」 | MSW 山浦美和子
(座長 脳神経外科医長 合田 司) |
| 15：30～16：30 | 「てんかんをみる」 | 国立病院機構西新潟中央病院 臨床検査科長 増田 浩
(座長 脳神経外科特任部長 平戸 政史) |
| 16：30～17：00 | 【質疑応答、アチーブメントテスト】 | |
| | 「開会挨拶」 | 国立病院機構渋川医療センター 院長 斎藤 龍生 |

参加者は計68名で、職種は看護師、理学療法士、言語療法士、作業療法士、放射線技師、養護教諭、救急救命士、施設職員、ソーシャルワーカーなど多岐にわたり、講演前後に全6問のテストを実施しました。

内容は講演に関するもので、高橋、山浦から1題ずつ、増田先生から4題でした。平均正答率は受講前92.4%から受講後99.2%となりましたが、受講前のテストでまだ相当数の医療従事者が発作時に口腔内に物をいれて舌をかまないようにするという行為が正しいと考えていることがわかり、今後もこのような催しを通じて、てんかんについての正しい知識を広めていくことが重要と思われました。講演内容については西新潟中央病院の増田浩先生のビデオを用いた講演が非常にわかりやすく、てんかんに対する理解が深まったとの声が多数寄せられました。また、当院の山浦MSWによるソーシャルワーカーの視点からの講義は、今までの同種のセミナーではなかつ



西新潟中央病院臨床検査科長 増田浩先生



高橋脳神経外科部長



山浦ソーシャルワーカー

た非常な斬新な企画であり、当院のてんかん包括医療に対する姿勢が示せたのではないかと思います。最後に京都の学会会場から駆けつけてくださった院長先生に御言葉をいただき、セミナーを締めくくることができました。

最後にこの会の準備、運営にあたってくれた当院のニューロモジュレーションセンターのスタッフ、管理課の皆様には厚く御礼を申し上げます。

令和元年度 災害対応訓練を行いました



救急診療科・循環器内科医長 山岸 敏治

去る10月11日（金）午後、開院以来2度目となる令和元年度渋川医療センター災害対応訓練を病院を挙げて行いました。前橋と高崎の間にある大きな断層（関東平野北西縁断層帯主部）によって最大震度6強の大地震が起き、大勢の傷病者が出るとともに、当院も停電や断水の被害を受けるという想定で、多数傷病者への対応と病院機能の維持・早期回復を目標といたしました。大地震発生後院内災害対策本部が立ち上がり、



災害情報や院内の被害状況から災害対応レベルを決定し、多数傷病者の来院へ準備を開始しました。1階の救急外来は重症患者を診る区域とし、一般外来には中等症、軽症、残念ながら亡くなられた方、それぞれに



対応する区域を設けました。自助共助で来院される正面玄関と、救急車で搬送される救急外来前には重症度を判定する区域を設け、今回は重症患者13人、中等症患者21人、軽症患者17人、心肺停止患者4人への対応をいたしました。傷病者役には当院事務職員の他に、渋川看護学校、上武大学、パース大学の学生さん、一般市民ボランティアの方々に参加していただき、ケガ人に見せるムラージュという化粧を施し、迫真の演技

を演じていただきました。平時には経験することのない多数傷病者対応で、特に重症、中等症の区域では混乱を余儀なくされましたが、限られた人材、物品、空間をいかに有効利用するかが災害対応の最も重要ポイントですので、訓練後の反省会では上手くいかなかったところ、改善すべき点についての洗い出しを行いました。対外的には前橋赤十字病院の中村救命救急センター長にDMAT活動拠点本部を、保健福祉事務所には渋川医療圏保健医療調整本部を院内に立ち上げていただき、渋川医療圏全体の医療について対応策を検討していただきました。地域の基幹病院として、実災害時には信頼できる砦になれるよう、リアリティーを追求したより現実的な訓練を重ねながら体制構築をしていきたいと思っております。



医療機関従事者を対象とした 「はじめての手話教室」を開催しました

～参加者は慣れない手話に悪戦苦闘～



管理課長 水澤 秀行

浜川市の地域包括ケア課主催による医療機関従事者を対象とした「はじめての手話教室」を10月23日（水）17時30分から19時までの1時間半に渡り、当院大会議室にて開催しました。

今年度は浜川市内の医療機関3施設を会場に計3日間開催され、当院は最終日に当たりました。早くから浜川市より事業概要を伺い院内に働きかけた結果、当日の参加者は各職場から32人と関心の高さが伺われました。（参加者数は3施設中、最も多かったそうです。）

浜川市地域包括ケア課・障害福祉係主任（手話通訳士）の臼田晶子（うすだあきこ）さんによる進行で、講義を浜川市聴覚障害者福祉協会 木村智子（きむらともこ）さん（聴覚障害者）から、通訳を北毛地区手話通訳者協会 丸山千枝子（まるやまちえこ）さんが務めました。



講師の木村智子さん
（浜川市聴覚障害者福祉協会）



手話通訳の丸山千枝子さん
（北毛地区手話通訳者協会）



皆さん、自分だったら…想像力を働かせて「どう表現するの？」

途中、講師の木村さんと参加者で例題を手話（ジェスチャー）で伝えるテストを行いました。当然のことながら参加者はほとんど手話ができません。身振り手振りや表情だけで「言葉」を伝えることの難しさを感じていました。

また、講師の木村さんから印象に残ったエピソードを伺いました。若い頃に医療機関を受診した際のことです。カーテンを閉めてベッド上で着替えの途中、いきなりカーテンを開けられて非常に驚かれたそうです。カーテンを開けた医療者はきっと声をかけて開けたのでしょうか、「音」が聞こえない木村さんにとっては「突然」以外の何ものでもなかったのです。

私たちは普段、無意識に健常者の立場で物事を進めています。障害者の方と接する際には、改めて相手の立場を思いやり、想像力を働かせることを忘れてはいけなかったと思います。次年度以降も本事業を継続開催し、少しでも多くの方に手話を知っていただき、障害者にも優しい病院でなくてはならないと強く感じました。



頭をフル回転させ、何とかして伝えようと頑張るものの…（中々難しい～）

「県民の日イベント」を 開催して

4東病棟看護師 塚越 久子

令和1年10月28日（月）上州「村の駅」で県民の日のイベントを行いました。

渋川医療センターの看護師による血管年齢測定や脳年齢測定、活力測定、健康相談を行い、栄養士による栄養相談や薬剤師によるお薬相談、リハビリスタッフによる健康体操を行いました。県内から51人、その内の26人が渋川市内からご参加いただき、また県外からも4人の方に参加していただきました。

中でも、数値として表れる血管年齢・脳年齢・活力測定に人気が集まり、「思っていたよりも若い数値が出た」と喜ぶ声が聞こえたり、逆に実年齢より高い血管年齢が出た方からは、「どうすればいいか？」などの質問も聞かれました。そんな方には、普段の血压の事や生活習慣などを伺い、看護師がアドバイスしたり、栄養相談に繋いだりしながら健康について考えていただける機会になりました。

イベントを心待ちにして来てくださった方や、買い物に来て参加したと言う方もいらっしゃいました。みなさん、自分の健康についてとても関心が高く、「定期的な運動（ウォーキング・ゴルフなど）をしている。」「栄養バランスを考えた食事を摂るように心がけている。」と多くの方の声が聞かれました。



健康測定



健康相談



イベントスタッフ

来年は、もっと多くの方に足を運んでいただけるように早めのポスター掲示や広報を活用した宣伝を行いたいと思っています。

今回、渋川医療センターのスタッフで一丸となり開催できたことで、私自身、渋川医療センターの団結力を感しました。地域の方との交流も深められ、とても良い一日となりました。

来年も多くの方々に参加頂き、みなさまの健康の維持増進に貢献していきたいと思っています。

第22回 市民公開セミナー を開催しました



経営企画室長 瀧澤 宏俊

がん診療拠点病院機能強化事業の一環として令和元年11月23日（土）に第22回市民公開セミナーを開催しました。当日は冷たい雨が降る中140人を超える地域の方々にご来場いただきました。

今年は「渋川医療センターのがん診断を支える診療部門」をテーマに、第1部に「がん相談」、「健康測定及び健康相談」、第2部に「医学講演会」、第3部を「オペラ公演」の3部構成で実施しました。

第1部の「がん相談」コーナーでは「肺がん」「消化器がん」「乳がん」「泌尿器がん」「皮膚がん」「血液がん」の6ブースでそれぞれがん専門医が来場者からの熱心な相談に対応させていただ



き、健康測定では来場者の関心の高い「骨密度測定」「血管年齢・ストレス測定」「脳年齢測定」「活力年齢測定」「肺年齢測定」「血圧測定」「アロマケアハンドマッサージ」を実施。「健康相談」では、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリ、MSWなどの専門家から、日頃の健康に対するアドバイスをさせていただきました。

第2部の医学講演では鈴木病理診断科医長による「病理診断は病理診断医が行っているんです！」仲間副臨床検査技師長による「臨床検査技師が行っている検査って何？」の2題の講演が行われ、鈴木医長からは普段患者さんが目にしないがんの診療にとって重要な病理診断について、仲間副臨床検査技師長からは採血された血液がどの様な流れで検査に行き着くのか等を動画も交えてわかりやすくお話しいただきました。来場者の中には熱心にメモを取る方も多く見られました。

第3部はめいたオペラの皆様によるオペラ公演が行われ、クラシックから親しみのある曲まで、すばらしい歌声と演奏で来場者を楽しませていただきました。

来年度も地域の方々に満足いただける様な市民公開セミナーを実施していきたいと考えております。



—患者さんにとって耳よりな情報—

高血圧と食生活

栄養管理室長 須永 将広

健康づくりには、「規則正しい食事」や「バランスの良い食事」が大切であることを紹介してきました。寒くなってくると、ヒトの血圧は「上がる」ことが知られています。普段から血圧を計っている方は、「少し血圧が高くなったかな？」と感じることもあると思います。本格的な冬を迎え、今号では、「高血圧と食生活について」お伝えします♪

高血圧予防には、「減塩」が知られており、普段から、「味付け」には気をつけていらっしゃる方も多いと思います。

一方で、「塩」は古来より「食品の保存」には欠かせないものとして知られており、食糧が不足する冬季にも食べられるよう、保存性を高めるため、我が国では「漬け物」などの食文化が伝承されていることもありますので、うまく生活に取り入れていくことが大切です。

肉や魚類では、保存性を高めるため、ソーセージ・ハムや、はんぺん・かまぼこ・干物などの「塩蔵品」も広く普及しており、乳製品では、チーズもおなじみです。

寒くなると、温かい麺料理は、心も体を暖め、美味しいですが、めんつゆやスープは塩分を多く含むので、全部飲み干さないなど、注意が必要です。また、お正月の「かまぼこ」は、醤油を控え、わさびだけで食べるなど、少しの工夫が減塩につながります。

決して、「何でも塩分が入っていて、食べるものがない……」と考えるのではなく、食品自体に塩分が入っていることを知ったうえで、「調味料をかけ過ぎない」、「お酢やわさび、こしょうやレモンなどで味付けに変化を加える」など、ちょっとした工夫で、美味しく・楽しく減塩に取り組めると理想的です♪

「こたつ」で「おせんべい」は、冬によくある光景ですが、これまでに紹介してきたとおり、「おせんべい」は塩分を含み、血糖値を上げる食品ですので、くれぐれも、食べ過ぎにはご注意ください。

家庭でよく食べる加工品に含まれる塩分量

魚加工品	重量(g)	目安量	塩分量(g)	パン・めん類	重量(g)	目安量	塩分量(g)
甘塩鮭	50	小1切	1.3	食パン	60	6枚切り1枚	0.8
たらこ	30	1/2腹	2.0	クロワッサン	40	1個	0.8
いか塩辛	15	大さじ1杯	1.7	あんぱん	40	小1個	0.1
あじ干物	60	1切	2.0	ゆでうどん	250	1玉	0.3
しらす干し	10	大さじ1杯	1.2	漬け物類			
かまぼこ	40	2切	1.0	梅干し	8	中1個	1.5
焼きちくわ	50	大半分	1.2	たくあん	10	1切れ	0.7
さつまあげ	40	1枚	1.0	きゅうりの糠漬け	35	3切れ	1.0
鮭水煮缶	50	1/4缶	0.7	白菜漬け	50	小皿1人分	1.0
まぐろ味付缶	60	1/5缶	1.6	佃煮類			
肉加工品				のり佃煮	10	小さじ2	1.0
ロースハム	20	薄切り1枚	0.6	こうなご佃煮	10	大さじ1	0.8
ウイナーソーセージ	30	2本	0.7	その他			
ベーコン	20	1枚	0.5	塩せんべい	15	2枚	0.3
乳製品				即席ラーメン	100	1個	5.0
プロセスチーズ	28	6pチーズ1個	0.8	トマトジュース	200	1缶	1.1
バター	10	大さじ1杯	0.2	カレールー	25	1人前	2.6

人名から学ぶ放射線の話

副診療放射線技師長 櫻井 淳

ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン

みなさんご存じレントゲン博士。放電管の実験中にX線という放射線を発見した人です。今ではレントゲンとX線は同じ意味で使われていることが多いようです(レントゲン写真=X線写真、レントゲン検査=X線検査)。ちなみに放射線の種類にはX線の他に α (アルファ)線、 β (ベータ)線、 γ (ガンマ)線などがあります。



レントゲン博士が撮影したX線写真

アントワーヌ・アンリ・ベクレル

電氣的に発生したX線と違って、自然界には放射線を出している物質があります。(主に α 線、 β 線、 γ 線を出します)この物質を放射性物質といい、放射線を出す能力がある物質は、放射能がある物質と表現します。ベクレルはウランの放射能を発見した人です。今では、放射性物質が1秒間にどれだけの放射線を出しているかという単位Bq(ベクレル)になっています。原発の事故の後、1Kgあたり100ベクレル放射能がある一般食品は販売できなくなりました。そういえば赤城、榛名のワカサギもしばらく食べられませんでしたね。



ルイス・ハロルド・グレイ

特に医療現場で、放射線が体にどれだけ当たったかの量を表すのがGy(グレイ)です。放射線が体に与えたエネルギー(吸収線量)の単位です。



当院のX線CT

当院ではCT検査した患者さんの被ばく線量データを残していますがその量の単位はGy(グレイ)です。



当院の放射線治療装置(リニアック)

放射線治療でも病気のある所に何グレイX線を照射するかプランを立てます。



ロルフ・マキシミリアン・シーベルト

放射線が当たって体が受けた影響を考慮したもの(線量当量)の単位をSv(シーベルト)と言います。前にも言ったように放射線には種類があり、種類によってその人体への影響は異なります。放射性物質が異なれば例え放射能が同量であっても被ばくによる人体への影響は異なるということです。放射線を出した量、当たった量でなく、線量当量(単位:シーベルト)は、当たったことによるダメージの目安です。



まとめ

Aさんを放射性物質。Aさんがばらまくボールを放射線と想像してください。

Aさんがばらまくボールの数をベクレル。



ボールが当たった数がグレイ。

ケガした数(影響)がシーベルト。





渋川医療センター外来診療担当医表

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
総合診療科	午前	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	
	午後 (予約)	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋				
呼吸器内科	午前	オオサキ タカシ 大崎 隆	オチアイ マイ 落合 麻衣	オチアイ マイ 落合 麻衣	ハラダ コウ 原田 航	クワコ トモヒト 桑子 智人
	午前	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	オオサワ ショウ 大澤 翔	ツチャ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ サトル 渡邊 寛
	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	スナガ ノリアキ 砂長 則明(群大)	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	ジングウ アスカ 神宮 飛鳥	オチアイ マイ 落合 麻衣
	午前	オチアイ マイ 落合 麻衣	イトウ マサシ 伊藤 優志			
内分泌・代謝内科 内 科	午前			オオサキ アヤ 大崎 綾(群大) (内分泌・代謝内科)	カワシマ チエコ 川島 智恵子 (内 科)	ヨシノ サトシ 吉野 聡(群大) (内分泌・代謝内科)
	午後	カサイ ユウコ 笠井 裕子(群大) (内分泌・代謝内科)				
循環器内科	午前	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治	イワサキ トシヤ 岩崎 俊弥(北関) (第2, 4週)	ミキ ユウコ 三樹 祐子(心血セ) (第1, 3, 5週) クハラ ジュン 栗原 淳(心血セ) (第2, 4週)	サカタ キミマサ ★坂田 公正(北関) (第1週 13:30~) ナカシマ クニキ ★中島 邦喜(北関) (第3週 13:30~)	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治
	午後					
脳神経内科	午後			ヤナギサワ タカユキ 柳澤 孝之 (第1, 3, 5週13:30~)		
小児科 (重心のみ・予約制)	午前					
	午後			シミズ ノブノブ 清水 信三(重心)		
血液内科	午前	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	カナヤ シュウヘイ 金谷 秀平
	午後 (予約)		オガワ ヨシユキ 小川 孔幸 (第2週)			
	午前	サイトウ アキオ 斎藤 明生	カナヤ シュウヘイ 金谷 秀平	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	イソダ アツシ 磯田 淳	サイトウ アキオ 斎藤 明生
	午前	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	サワムラ モリオ 澤村 守夫	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	オオサキ ヨウヘイ 大崎 洋平(群大)
消化器内科	午前	ナガジマ ヨシミ 中島 良実(群大)	ナガシマ タモン 長島 多聞	ヤマザキ ユウイチ 山崎 勇一(群大)	ヒロカワ トモユキ 廣川 朋之	フルヤ ケンスケ 古谷 健介
	午前	キムラ ユウコウ 木村 有宏	カナヤマ ユウキ 金山 雄樹(群大)	ウエハラ ダイスケ 植原 大介(群大)	カキザキ サトル 柿崎 暁(群大)	アダチ タクヤ 安達 拓也(群大)
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ ゴウ 小林 剛		コヤ ヒロコ 小屋 紘子	コヤ ヒロコ 小屋 紘子	コバヤシ ゴウ 小林 剛
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マジマ タケヒコ 間島 竹彦	マジマ タケヒコ 間島 竹彦		マジマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 (予約制)	午前		ナカムラ ユウジ 中村 勇司		ナカムラ ユウジ 中村 勇司	
	午後	ナカムラ ユウジ/マツウラ マサナ 中村 勇司/松浦 正名	マツウラマサナ/クワコケイコ 松浦正名/桑子 慧子	マツウラマサナ/クワコケイコ 松浦正名/桑子 慧子	マツウラマサナ/クワコケイコ 松浦正名/桑子 慧子	ナカムラ ユウジ/クワコケイコ 中村 勇司/桑子 慧子
麻酔科	午前		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆	セキモト ケンイチ 関本 研一 (ペインクリニック外来)		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆

外来受付時間 8時30分～11時00分 (注) 担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※眼科の月曜日診察は紹介状をお持ちの方とご予約されている方のみ受診できます。

※整形外科は初再診にかかわらず、原則完全予約制です。

※原則、午後は予約診察のみとなりますが、★印の診察については受付時間は15:00までとなります。

※(予約)と記載がある場合は、予約患者さんだけの診察となります。

※再診予約の方については16:00まで再来受付機での受付が可能です。

◎予約変更について 受付時間：平日13～17時 TEL.0279-26-3010 (予約専用)
TEL.0279-23-1010 (代表)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
外科(消化器)	午前	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	ヨシナリ ダイスケ 吉成 大介	コバヤシ ミツノブ 小林 光伸	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後				スヶガワ シンサク ★助川 晋作 (肛門科・消化器外科) (第1,3,5週 13:30~)	
	午前		タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文		タカハシ ケンゴ 高橋 研吾	
外科(呼吸器)	午前	ナガシマ トシテル 永島 宗晃		カワシマ オサム 川島 修		カワシマ オサム 川島 修
	午前					ナガシマトシテル/タカセヨシアキ 永島宗晃/高瀬貴章
脳神経外科	午前	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司
	午後					イベ ヨウコ 伊部 洋子(群大)
	午前		ヒラト マサブミ 平戸 政史		ヒラト マサブミ 平戸 政史	
	午後(予約)				ヒラト マサブミ 平戸 政史	
	午前			ヒラト マサブミ 平戸 政史		
	午後(予約)			ヒラト マサブミ 平戸 政史		
ニューロモジュレーション外来				★ニューロモジュレーション外来 14:00~		
整形外科(予約制)	午前	キタガワ タカノリ 喜多川 孝欽	イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一(群大)	オカムラ ヨウイチ 岡部 興一(群大) (第1,3,5週) オモダカ タクヤ 面高 拓矢(群大) (第2,4週)	ヤナガワ タカシ 柳川 天志(群大)	
	午後		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一(群大)			ヨネモト ユキオ 米本 由木夫 (第2,4,5週) 【リウマチ専門外来】
	午前	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知		カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	キタガワ タカノリ 喜多川 孝欽
泌尿器科	午前	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	オカベ カズヒコ 岡部 和彦 (第1,3,5週) ネノイ ツバサ 根井 翼 (第2,4週)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ネノイ ツバサ 根井 翼
	午後(予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美		ネノイ ツバサ 根井 翼	タムラ ヨシミ 田村 芳美
	午前10:00まで	ネノイ ツバサ 根井 翼	ネノイ ツバサ 根井 翼	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ネノイ ツバサ 根井 翼	タムラ ヨシミ 田村 芳美
耳鼻咽喉科(9:00-14:00)	午前			オカモト アヤコ 岡本 彩子		オカモト アヤコ 岡本 彩子
皮膚科	午前	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	アオヤマ クミ 青山 久美
	午後(予約)	アオヤマ クミ 青山 久美	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	アオヤマ クミ 青山 久美
	午前	アオヤマ クミ 青山 久美	コサカ ケイジ 小坂 啓寿(群大) (第2,4週)	アオヤマ クミ 青山 久美	アオヤマ クミ 青山 久美	
甲状腺科	午前	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹		ヨコエ タカオ 横江 隆夫
	午後(予約)			ヨコタ トオル 横田 徹		
乳腺科	午前	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコタ トオル 横田 徹	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子		ヨコタ トオル 横田 徹
	午後(予約)		ヨコタ トオル 横田 徹			ヨコタ トオル 横田 徹
乳腺・甲状腺科	午前	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ タカオ 横江 隆夫		
眼科	午前	タカヤマ マユコ 高山 真祐子(群大)	タカヤマ マユコ 高山 真祐子(群大) (偶数月担当)			
	午後(予約)		ムカイ リョウ 向井 亮(群大) (奇数月担当)	ミムラ ケンスケ 三村 健介(群大)		
	午前	ムカイ リョウ 向井 亮(群大)				

セカンドオピニオン担当表 (令和2年1月1日現在)

科 別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午後3時30分～	斎藤 龍生	—	斎藤 龍生	—	—
呼吸器外科	午前中	川島 修	—	—	—	—
血液内科	午後2時～	松本 守生	—	—	—	—
乳腺・甲状腺外科	午後2時30分～	横江 隆夫 (午後～)	—	横田 徹	—	—
消化器外科	午後	蒔田 富士雄	—	小林 光伸	—	—
放射線科	午後3時～	—	—	松浦 正名	中村 勇司	—
緩和ケア科	午後	小林 剛	—	—	—	小林 剛
皮膚科	午後	山中 正義	—	—	—	—
泌尿器科	午後3時30分～	—	—	—	—	田村 芳美
脳神経外科	午後	—	—	宮城島 孝昭	—	—

※対象者:原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用:30分毎に5,500円

※お問い合わせ先:TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

患者さんの権利

1. 最善の医療サービスを受ける権利
2. 人格・人権を尊重される権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーを保護される権利

がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。
担当:ソーシャルワーカー
電話:0279-23-1010 (代表)
(受付時間は平日8:30～17:15です)
- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail:207-ShibuKawaMC_mbx@mail.hosp.go.jp

看護の理念 患者さんの立場に立ち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します。

看護の基本方針

1. 患者さんの気持ちを大切に、思いやりとまごころ込めた看護を提供します。
2. 患者さんと共に考える看護の実践により患者さんが自ら意思決定が行えるよう支援します。
3. 地域の人々と連携を図ることで患者さんの生活の質の維持向上に努めます。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重した質の高い看護を提供します。
5. 看護の専門性を追求し、根拠に基づいた安全で安心な看護を提供します。

編集後記

新年、あけましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。
さて、第97号のウィズは、いかがだったでしょうか？

今年は、東京オリンピック・パラリンピックイヤーとして、私の人生の中でも記憶に残る特別な年になるのではないかと期待しています。また、開催前の聖火リレーでは渋川市内もコースに入っているとの情報もあり、間近で見られるかもしれません。

インフルエンザなどの感染症が群馬県内で増加傾向との情報があります。当院も職員や患者さん、お見舞いの方々にマスクの着用・手洗いの励行等をお願いしています。感染症対策では一人一人の対策が特に重要となりますのでご協力をお願いします。

最後までお読みいただきありがとうございました。今後も有益な情報をお届けしますので「ウィズ」をよろしく願います。

(萩原 隆)



独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

〒377-0280 群馬県渋川市白井383番地 TEL 0279-23-1010 (代) FAX 0279-23-1011

<https://shibukawa.hosp.go.jp>